

図書館の特色ある展示

区立図書館では、それぞれ工夫を凝らして館内の展示をしています。今回は、その中の一部をご紹介します。

【江東図書館】学童疎開資料室

戦争のとき、都市部の子どもたちを空襲の危険が少ない地方へ住まわせることを「疎開」といいます。江東図書館には、その疎開のときの貴重な資料を集めた資料室があります。当時の子どもたちが見ていた雑誌や手紙、写真など、いろいろな疎開資料を常設で展示しています。

【東雲図書館】大きな風

東雲図書館では、年末年始にカウンター天井に大きな風2枚を飾りますので、お正月気分を味わってください。そのほかに、芸術「七五三」「勤労感謝」をテーマに展示をしました。

【古石場図書館】懐かしい遊び

古石場図書館では毎月、季節記念日、時事問題や地域にちなんだテーマを決めて展示をしています。1月は、ベーゴマ、羽根つき、メンコなど懐かしい遊びをテーマに展示を行います。

【砂町図書館】山の日

昨年、国民の祝日として誕生した「山の日」。砂町図書館では、「やまのぼり」をキーワードにした資料の展示や、山に関連する昆虫の本や植物の本の展示をしました。また、ダンボールを使って山の形を造り、展示コーナーに飾り付けをして、みなさんに楽しんでいただきました。

【東大島図書館】宿題のヒント

東大島図書館の児童室では、

こどもたちへのおすすめ本とともにコーナーをカラフルに飾り、資料を手にとってもらえるように工夫しています。館内で使用したレシートロールの芯を工作用として配り、宿題や工作のヒントになるお手伝いをしました。

【各図書館】オリリンピック・パラリンピック関連展示

区立図書館では、リオデジャネイロオリリンピック・パラリンピックを応援するために、それぞれの種目別選手の一覧や種目を紹介するための本の展示や貸し出し、各選手のポスター掲示など工夫を凝らした展示を行いました。2020年には東京でオリリンピック・パラリンピックが開催されます。図書館はこれからも、オリリンピック・パラリンピックはもちろん、勉強に役立つ展示や貸し出しを行っています。このように、区立図書館では、いろいろな特色のある展示や行事を行っています。

図書館はあなたの「知りたい」意欲を応援します。図書館へ来たときは、ぜひご覧になってください。



江東図書館

TEL (3640) 3151
FAX (3615) 6668

教育委員だより

【教育委員の構成】



委員長 眞貝 裕利子



委員長職務代理者 進藤 孝



委員 松江 恒治



委員 橋本 俊雄



教育長 岩佐 哲男

会を2回開催しました。主な議題は次のとおりです。

◆議事案件(24件)

・平成27年度江東区一般会計歳入歳出決算
・江東区立幼稚園の保育料に関する条例
報告案件(41件)

・江東区立(仮称)第二有明小・中学校の特色化に向けた検討状況等について

・平成28年度新1年生の学校選択結果について

・学校施設の収容対策について

・「江東区オリリンピック・パラリンピック教育」推進方針について

◆協議案件(5件)

・通学区域の変更について

◆その他の活動

・江東区総合教育会議

・こどもたちもスポーツデー

・小学校連合運動会等各種行事

【今後の教育委員会開催予定】

※平成29年1月11日現在

第1回定例会1月27日(金)午前10時

第2回定例会2月23日(木)午前10時

第3回定例会3月28日(火)午前10時

開催日程・会議の傍聴については、庶務課庶務係までお問い合わせください。

図 庶務課庶務係

TEL (3647) 9170
FAX (5690) 6911

表彰等のお知らせ

優れた功績があった学校の先生や、学校活動を支援している団体・個人が表彰されました。

●東京都教育委員会職員表彰

●東京教育委員会職員表彰

●峰岸 利一

第二南砂中学校長

●大石 美生

東川小学校指導教諭

●赤田 洋一

大島中学校主幹教諭

が表彰されました。



わくわくスポーツデー
もみじ幼稚園

こどもたちは、園庭の木々や美しい花々に囲まれ、いっぱい陽射しを浴びながら、かけっこやリレー、鬼ごっこなど、歓声を上げながら、楽しんでいます。

今年度から、毎週火曜日を「わくわくスポーツデー」とし、運動遊びを計画的に実施しています。

こどもたちは「手や足をいっぱい動かすと、速く走れるよ。」

「昨日より速く走れた。」と、友達とにこにこ顔で話し、体を動かすことが大好きです。

また、親子でも体を動かして遊び、触れ合いを楽しめるよう

図 おうちの人と一緒に楽しいね

長縄チャレンジ

に、「親子わくわくデー」も実施しています。

六砂の誇り、長縄跳び、

第六砂町小学校

青々とした芝生が広がる校庭。そこには、長縄チャレンジに取り組むこどもたちの声が響きます。

六砂小には江東区で一番のお手本であり、憧れである高学年のこどもたちがいます。

昨年度「江東区オール小学校長縄跳び大会」で2回目の優勝を果たしたこどもたちです。

「あんな風に自分たちも跳んでみたい。」と下級生たちも全力でチャレンジしています。

また、先生方は、「長縄チャレンジを通してクラスの絆を深めたい。」と話しています。そう、六砂小にとって長縄跳びは、クラスの絆を深め、学校の絆を深める大切な誇りなのです。

本池 洋一

深川第六中学校(学校医)

財部 克彦

第三大島小学校(学校歯科医)

高橋 正夫

八名川小学校(学校薬剤師)

東京教育委員会表彰

東京都功労者表彰

(福祉・医療・衛生功労)

第一亀戸小学校(学校歯科医)

東京教育委員会表彰

(健康づくり功労)

第五砂町小学校

学務課給食保健係

TEL (3647) 9177
FAX (3647) 9053

俳句づくりのワンポイント④

～お正月の俳句を詠む～
皆さんはどのようなお正月を過ごしたでしょうか。

お正月の風習や様々なしきたりには、日本人の歴史が詰まっています。俳句の歳時記は、春夏秋冬、冬の四つの季節の他に「新年」という項目を特別に起こしています。

お正月の俳句を詠むことで、「日本」そのものに触れることができるかもしれません。

日本がここに集まる初詣

山口誓子

元日の前日が晦日です。この「大晦日」もお正月に繋がる季語です。

大晦日定なき世の定かな

井原西鶴

お正月(新年)の季語には、次のようなものがあります。

新年、お正月、初詣、初日の出、初夢、年賀状、お年玉、福笑い、初景色、節料理、門松、しめ縄、鏡餅、書き初め、初電話、歌留多、羽根つき、七草がゆ

俳句を詠むときには、「新年」や「お正月」というざっくりとした季語よりも、「年賀状」や「書き初め」のように具体的なイメージがはつきりとした季語を使うことをお勧めします。

書く初めの春という字の一画目

俳句づくりを通して、お正月の出来事を思い出し、日本のお正月の良さをもう一度味わってみてください。

図 学校支援課学校支援係

TEL (3647) 9307
FAX (3647) 9053

ご家庭・事務所等で配布が必要ない場合や、配布部数の変更を希望される場合は、全戸配布コールセンター(平日および配布日の9:00～19:00) ☎ 3950-3070へ

読み終わったこうとうの教育は古紙回収へ

こうとうの教育はこうとう区報と一緒にお届けしています。



深川第六中 BOOKOFF
亀戸駅東口にて

次世代を担う中学生に社会の一員としての自覚を促し、社会性や望ましい勤労観・職業観を育成することを目的として、「中学生の職場体験事業」を実施しております。

区立中学校全校で実施している本事業は、区内の多くの事業所等に中学生を受け入れていただいております。ご協力ありがとうございます。中学生からは、「働くことは大変なことだが、生きがいになるものだ」ということが分かった」や「これからは人のために働くことに誇りをもつて地域や社会に貢献したい」など、働くことの大切さや将来の進路を考えるきっかけになったという感想を多く聞くことができています。

今後、教育委員会では、受け入れていただいている事業所様をホームページにおいて紹介する等、積極的にPRしていく予定でいます。

新規で受け入れをしてくださる事業所様がおられましたら、指導室までご連絡いただければ幸いです。

中学生による 職場体験の 取組



東京 オリンピック パラリンピック GO!

「働くことは大変なことだが、生きがいになるものだ」ということが分かった」や「これからは人のために働くことに誇りをもつて地域や社会に貢献したい」など、働くことの大切さや将来の進路を考えるきっかけになったという感想を多く聞くことができています。

人生の宝物となる体験



辰巳中 東雲図書館にて



第四砂町中 なでしこ幼稚園にて

事業所様からの声

BOOKOFF 亀戸駅東口店 店長 今井雄一様

店長になって以来4年間、年間2〜3校の中学校による職場体験を受け入れております。

1回につき3名前後の中学生で実施しており、ブックオフの業務の中の補充・加工・販売を体験して貰います。

中学生は、皆素直で、言ったことをきちんと行ってくれています。私達も教える中で、改めて基本に戻ることができ学びがたくさんあります。

お互いに良い経験になりますので、今後とも積極的に職場体験の中学生を受け入れるつもりです。

指導室
TEL (3647) 9179
FAX (3647) 6505

アスリートとの交流

大島中学校

スポーツ

障害者アスリート交流キャラバン
豊洲小学校

ダンス教室

つばめ幼稚園

学習の内容

4つのテーマ × 4つのアクション

「オリンピック・パラリンピックの精神」「スポーツ」「文化」「環境」の4つのテーマを設定し、「学ぶ(知る)」「観る」「する(体験・交流)」「支える」の4つのアクションと組み合わせ、各校の実態に応じて計画し、実践することとしています。

文化

マナー教室 第三大島小学校

学ぼう

掲示物の作成 明治小学校

文化

文化交流 辰巳小学校

すべてのこどもが
2020年に東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。今年度より、すべての公立幼稚園・小学校・中学校においてオリンピック・パラリンピック教育がスタート

しました。江東区では、多くの競技が行われることもあり、恵まれた環境を生かし、すべてのこどもたちが充実した学習を行うよう計画を進めています。

実際に選手や大会を支える方

々、外国の方々と交流をしたり、競技に挑戦したりする等、こどもたちが体験を通して学べるようにしています。

2020年そして未来に向かって江東区のすべてのこどもたちが大会にかかわることを通して、夢をもち未来への可能性を広げられるように、江東区独自のオリンピック・パラリンピック教育を推進していきます。

学校支援地域本部は、子どもの環境が情報化、価値の多様化で変化する中、様々な課題を抱える学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々とボランティアとしてつなげる組織で、いわば学校の応援団といえます。学校とボランティアの橋渡し役としてのコーディネーターは、学校側の事情や要望等に応じてボランティアを募り、様々な学校支援活動の企画や調整を行っています。具体的な活動事例としては、読み聞かせや、緑化活動、見守り安全隊、昔遊びなどが挙げられます。また、学校支援地域本部から学校に新しい企画を提案し、活動している場合もあります。地域住民の方々の知識や経験を最大限活用し、こどもたちに還元していくことは、地域にとっても、学校にとっても欠かせない財産となっています。

○文部科学大臣表彰受賞！

平成二十八年「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました！

第三砂町中学校の学校支援地域本部「三砂中支援の会」が、平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました！

三砂中支援の会では、地元出身の企業退職者の方などが中心となり、現役企業人を招いてのキャリア教育や、ヤング講師とシニア講師が協力しながら行う学習教室など、多彩な活動を展開しており、今回の受賞はこれらが高く評価されたものです。これまで全国的に見ても先進的な取り組みを展開してきた三砂中支援の会の受賞は、他校の学校支援地域本部や今後の実施予定校の大きな励みになることと思います。これからの区内の学校支援地域本部の取り組みにますます期待が高まります。

学校支援課 学校支援係
TEL (3647) 9307
FAX (3647) 9053

29年度		30年度		31年度	
小(8校)	中(5校)	小(8校)	中(5校)	小(10校)	中(4校)
平久小	深川第三中	東陽小	深川第八中	臨海小	辰巳中
辰巳小	深川第五中	川南小	東陽中	東雲小	大島中
第一亀戸小	有明中	豊洲小	第二砂町中	有明小	大島西中
香取小	第二大島中	豊洲西小	南砂中	校川小	(仮)第二有明中
砂町小	第四砂町中	大島中央小	第二南砂中	第一大島小	
第二砂町小		第四砂町小		第五大島小	
北砂小		第六砂町小		第三砂町小	
南砂小		小名木川小		第七砂町小	
				亀高小	
				(仮)第二有明小	

学校支援地域本部は、子どもたちの環境が情報化、価値の多様化で変化する中、様々な課題を抱える学校を支援するため、学校が必要とする活動について地域の方々とボランティアとしてつなげる組織で、いわば学校の応援団といえます。学校とボランティアの橋渡し役としてのコーディネーターは、学校側の事情や要望等に応じてボランティアを募り、様々な学校支援活動の企画や調整を行っています。具体的な活動事例としては、読み聞かせや、緑化活動、見守り安全隊、昔遊びなどが挙げられます。また、学校支援地域本部から学校に新しい企画を提案し、活動している場合もあります。地域住民の方々の知識や経験を最大限活用し、こどもたちに還元していくことは、地域にとっても、学校にとっても欠かせない財産となっています。



受賞した三砂中支援の会の小宮さん、成岡さんと三砂中の森校長先生(左から)